

◆山梨県『みんなのおうちに太陽光』の、ご紹介

～電気代が上がっている今だからこそ太陽光を賢く使うチャンス！

「みんなのおうちに太陽光」キャンペーンの登録受付中！太陽光パネル・蓄電池 みんなでおトクに購入しませんか？

◆共同購入「グループパワーチョイス」とは…1人で買えるモノの量は限られています。でも、10人いたら？100人いたら？このように、たくさんの人が集まり、たくさんのものを買える力＝購買力を高めることでかしくお得な選択肢を得る、これまで日本になかった新しい買い方です。

★共同購入「グループパワーチョイス」のメリット

1) みんなでまとめて買うからお得！ 2) 購入判断は最終見積り後でOK！

3) 厳しい条件をクリアした販売施工事業者のみ参加なので安心

4) キャンペーン事務局アイチューザーが全ステップしっかり安心サポート

詳細はWEBへ <https://group-buy.jp/solar/yamanashi/home>

◆エコ×エネ ゼロカーボンキャンプ 参加者募集

今年で9年目の主催事業です。山梨県の親子を対象に、自然体験をベースとしたゼロカーボンな暮らしへの気づきを促すプログラムを開催します。ご興味ありそうな方へのお誘いを、ぜひ、よろしくお願いします。

◆日時／第1回／2023年7月15日（土）10:00～15:30、第2回／2023年7月16日（日）10:00～15:30
第3回／2023年7月17日（月・祝）10:00～15:30

◆主催：山梨県地球温暖化防止活動推進センター 公益財団法人キープ協会

◆会場・協力：山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター（山梨県北杜市高根町清里 3545）

◆対象：山梨県の小学生1～6年生、中学生1～3年生 ◆定員： 各回 15名

◆内容：森のエネルギーのぐるぐるさがし

森あそびをして、太陽・水・風などの自然エネルギーのつながりを探そう

※7月15日はミニレクチャー「EVを使ったアウトドアを知る」もあります

森の秘密基地づくり～お日さまエネルギー・空気や水の流れなどを考えて家づくり

未来の暮らしをみんなで描こう～まとめの時間

※7月15日はスペシャル★ サステナブルな時代のアウトドア♪ EVの展示・レクチャー開催

◆お申込み WEB、メール、電話でお申込みください。詳細をご連絡します。

★申込みフォームはコチラ → <https://ssl.formman.com/t/meRS/>



※謝罪と訂正：前号の記事の中で推進員の根津さまと表記しましたが、正式には辞めておられました。大変に失礼いたしました。

発行：山梨県地球温暖化防止活動推進センター 公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 やまねミュージアム内

TEL:0551-48-8011 FAX:0551-48-3577

mail:eco@keep.or.jp <https://www.keep.or.jp/yccca/index.html>



◆やまなしゼロカーボンフェス2023 が開催されました！

2023年3月18日～19日で「やまなしゼロカーボンフェス2023」がイオンモール甲府昭和にて開催されました。省エネや節電について親子で楽しく賢く学べるイベントで、山梨県は水素エネルギーの取り組みやカーボンニュートラルロゴ投票などで出展、県内外の企業や団体がブースやステージショーで盛り上げました。

当センターは「モミのかおり袋作り」を実施。森の木々はCO2の吸収や、地滑りなどの災害防止の役割の他に、その香りには癒しの効果があることをご存じでしょうか。特に清里に自生する【ウラジロモミ】は香りが強く、清涼感のあるその香りは、リフレッシュ、リラックス効果があると言われています。2日間で100名を超える方が体験。モミの葉のチクチクした感触、冬でも目に映える鮮やかな緑色、そしてマスク越しでも香る爽やかな匂い。かおり袋を作ることを通して、多くの方に「森の力」を五感で感じて頂くことができました。

続いて他の企業や団体もご紹介します。まず、日産自動車（株）は、モデルカーの作成を通して環境問題や電気自動車を学ぶ体験教室と、電気軽自動車【SAKURA（サクラ）】の実車展示。パルコミュニケーション（株）はその【SAKURA】から【V2Hシステム※】を使った電力供給を実演していました。山梨県ガス協会は、太陽光発電システムやエコ給湯器の紹介。東京電力関連企業は、手回し発電の体験や通電火災を防ぐ【感震ブレーカー】の展示、ステージでは社員ユーチューバーが身近な節電対策を紹介されました。山梨県立科学館のサイエンスショーは、CO2を出さない発電方法や太陽光発電を分かりやすく演示し、子どもたちの注目を集めていました。



大企業や県立施設の環境技術への取り組みや、次代を担う子どもへの環境意識の育成事業を拝見し、とても頼もしく感じました。世間の大きな潮流は確実に「ゼロカーボン社会」へ向かっています。この意識を草の根に広げることが、当センターに求められることだと思いました。「ゼロカーボン社会」の実現のために、キープ協会環境教育事業部が運営する当センターだからこそできること、その1つが「自然を身近に感じてもらうこと」です。自然を大切に想う心が、温暖化をはじめとする地球環境全体の問題へと目を向けるきっかけになるのではないかと思います。今回、山梨県内最大のショッピングモールで、小さな自然体験を提供できたことは、大きな意味があったと思います。

一人でも多くの方が「ゼロカーボン社会」の実現に向けて、

小さなことでもアクションを起こしていけるような働きかけを続けていきたいです。

※Vehicle to Home：車輦に蓄積された電気を家で使える電気として送るシステム



◆今年も盛り上がりました 「やまなし環境教育ミーティング 2023」

2023年3月4日、山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンターにて、県内における地域の自然を活かした魅力的な教育・暮らし・仕事をしている人たちのネットワークの推進及び連携による協働・共創の深化・拡大を目的とした「やまなし環境教育ミーティング 2023」が開催されました。主催は、山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター、やまなし環境教育ミーティング実行委員。共催として、公益財団法人キープ協会、山梨県地球温暖化防止活動推進センターも加わりました。テーマに広く関心のある方を対象に、毎年3月に日帰りの形で実施しており、パネルディスカッション、参加者による事例紹介（ブース）、全体会という内容で、2016年度から実施しています。今年度は「地域をつなぐ～自然・風土を活かした教育の場とは何か～」というテーマで、パネリストに高田研氏（都留文科大学地域社会学科）、古屋真弘氏（甲斐國一宮浅間神社）、小田友美氏（トーチファームまちの上の朝市 uenohara）をお招きし、実施されました。パネリストの話題の共通点は“集う”。人々が“集う”ことで、相互のつながりや、協働・共創を生み出す場となり、より幅広い関心層がつながる機会となる大切さを感じました。今回のミーティングも、小学生から大人まで様々な方にご参加いただき、参加者による事例紹介や、全体会での情報交換では、活発な意見交換がなされていました。



◆おいしいイベント！ 『シェフズバル北杜』に出展してきました

2023年3月4日、清里高原 牧場通り コート・ドゥ・ヴェール牧草広場にて、「シェフズバル北杜」が開催されました。北杜市のシェフが一堂に会し、ハケ岳の冬の美味を大自然の中で味わおうという野外バルです。

会場を取り囲むように多数の飲食販売のテント、正面には大きなステージ、そして、会場内にはたくさんの焚火台とそれを囲むようにイスが設置されていました。JAZZなどのステージ音楽を聴きながら、地元の美味しいお料理やお酒を堪能し、焚火を囲んで仲間と語らう…なんともお洒落で非日常な空間でした。

キープ協会は、子ども向けアクティビティ担当として出展し、当センターで作成した「ぐるぐるスタンプ」と「山梨県エコすごろく」の体験を行いました。山梨県エコすごろくでは『丹波山村のシカ肉バーガー』のコマに止まった子が、「さっきシカのお肉食べたよー！」と嬉しそうに教えてくれました。コマの説明文を読んだ親御さんが「へー！」と感嘆の声をあげ、各市町村のエコへの取り組みに感心されている様子も伺えました。山梨県の各市町村のエコ活動が広がり、家庭で実践できるものを真似してくださる方が増えたらいいなと思いました。

ぐるぐるスタンプもでは、自然界の命やエネルギーのつながりを、楽しみながら学んでくれ「リスの好きな食べ物は何だろう？」「雨が降ってきて、動物はお水が飲めて喜んでるね」と声をかけながらスタンプを押していました。来場者の方は多くが県外の方で、このようなイベントで、清里の豊かな森や山梨県の地球温暖化防止の活動をアピールすることはとても良い機会と感じました。子どもの体験が、温暖化防止の活動の種となり、地球温暖化を意識する芽が出て、活動する花が咲き、そして地域に広がっていくことを願っています。



◆2023年度は『第11期 山梨県地球温暖化防止活動推進員』募集の年になります！

令和5年9月から「山梨県地球温暖化防止活動推進員」として、積極的・自主的に、地域での地球温暖化対策に推進に取り組んでいただける方を募集します。活動内容は、自分の身の回りという身近な場所で、率先して温暖化防止活動を行っていただくとともに、ご自身の関心のある温暖化対策について、ご家族・友人・地域の方々などに地球温暖化対策に関する指導や助言を行うなど様々です。山梨県やセンターでは、推進員に対し、各種取組情報の提供、研修会などを通じて支援していきます。

- 身分：ボランティアとして活動を行っていただきます
※特別職地方公務員の身分を持つものではありません
※ボランティア保険に県負担で加入していただきます

- 任期：2年間

- 活動・役割：地球温暖化防止活動推進員は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、知事によって委嘱され、次に定める活動を行っていただきます

- 1.地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について、住民の理解を深めること
 - 2.住民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること。
 - 3.地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う住民に対し当該活動に関する情報の提供その他の協力をする
 - 4.温室効果ガスの排出抑制のために国又は地方公共団体（県、市町村など）が行う施策に必要な協力をする
 - 5.国や地方公共団体（県、市町村など）が実施する研修会や講演会などへの積極的な参加、地球温暖化対策の実践などにより、推進員としての資質の向上に努めること。6.その他地球温暖化対策の推進に関すること。
- ★ご興味のある方には、センターからも個別で説明しますので、お気軽にお問合せください



◆昭和町のおまつり『エコしょうわ』に4年ぶりに参加させて頂きました！

4月29日祝日、昭和町の地域の皆さんが集まる、環境啓発イベント「エコしょうわ」が開催され押原公園にはたくさんの方が集まりました。当日はお天気も良く、初夏の少し汗ばむ気温の中でのイベントとなりました。朝からお昼過ぎまでのイベントでしたが、来場者数は1,000人以上！と多くの方に足を運んで頂きました。

イベントでは環境に関係した20もの催しが用意され、体験あり解説あり、スタンプを集めるとプレゼントをもらえるスタンプラリーなども開催。山梨温暖化防止活動推進センターでは、涼しいところでしか育たないモミの木を紹介するクラフトや、やまなし全体の取り組みをまとめた、「やまなしエコすごろく」で遊びながら、地域愛が生まれることと、地球愛が生まれることを想いながらテント運営を行いました。親子でとても関心をもって参加して下さる方が多く、清里で待っているだけでなく、県内のあちこちに出張してのプログラムの大切さを、再確認しました。なにより、安心と安全の世の中が広がっていなければ、こういったイベントもできません、この場を開いてくださった昭和町のみなさまに、深く感謝します。

地域協議会にも登録されている「人と環境すっきり昭和」の皆さんもプログラムを展開されており、おえかきマイバックづくりのコーナーが盛り上がりっぱなしでした。同志と共に普及啓もう活動に携われたが嬉しかったです！これからも皆さんの地域に出向きます、是非お声がけください！

